



企業プロフィール

■設立	2001年4月
■資本金	700万円
■所在地	東京都港区北青山3-6-7 青山パラシオタワー11階
■電話	03-5778-5929(代)
■事業内容	マーケティングPR
■URL	http://www.sohten.co.jp

ストーリー消費時代に適合したPR戦略を立案

有限会社蒼天 社長 浜村 隆洋

早稲田大学政治経済学部卒業後、三菱自動車工業入社、広報部に配属。その後、モータースポーツ担当になりPR、プロモーションを実施。2001年独立。

写真が浜村隆洋氏(右)と望月徹氏。早稲田大学の同窓である。
PRガイドブック(無料)を希望する人は蒼天まで。

培ったノウハウを生かすため 会社を興した

蒼天は「広告だけでは売れない時代」の来る「PR」を重視し始めたマーケティング会社だ。

「今の消費者は商品の良し悪しを判断する十分な情報を持っています。このことは購買予定では、まだロード商品を理解していない、その後には即ち「オ

ドードーのがベストな方法です」と、同社・浜村隆洋社長は語る。

起業前、三菱自動車に勤めていた浜村社長は、モータースポーツのPRを担当。「バジェット」を広告ではなく、パリ・ダカールラリー効果で成功させたとか、新しいPR手法を考えたところ。つまづ、バジェットはパリ・ダカと並びイベントを使つたが、商品の優秀性を印象づけるには、商品そのものをアピールするだけでは限界があり、ストーリーで語るほうが説得力を持つ、という考え方だ。

浜村社長は、同様の手法が他の商品でも通用できることを確信し、そのノウハウを生かすために独立に躍み切つた。実際、ヒット商品「お風呂で読める本」のPRを担当、反響が大きかつたので生産設備増強につながった。また、起業パートナーで000の望月徹氏は、農林中央金庫出身で金融界初のACC(全日本シーエム放送網)賞金賞の受賞者。現在、金融界を熟知する広告・PR会社がほとんどなく、また金融界でPRに不慣れな現状では他にはない可能性を持つている。